

支援情報等のお知らせ

- 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - 1 心と学びのサポートセンター「つなぐん」・「つなサポ」
 - 2 「すべての子どもたちが学び続けるために」良い方法の相談を
 - 3 【再掲】「ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」開催
- 自立支援に関するイベント等の情報
 - 4 伊勢崎市ひきこもり家族支援フォーラム
 - 5 県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ60」
- 民間活動団体等の紹介
 - 6 館林市 不登校親の会「あおぞら」

1 学校に行きにくさを感じている児童生徒、保護者の相談・支援窓口
心と学びのサポートセンター「つなぐん」・「つなサポ」

夏休みが終わって2学期が始まりました。様々な理由で学校に行きづらさを感じて休みが続いている子ども、我が子の対応に悩んでいる保護者の方が身近にいませんか。

群馬県総合教育センターでは、18歳までの子どもとその保護者を対象に、生活習慣や子育て、学業、発達の遅れ、就学等、教育や子育てに関する相談を受け付けています。

☆電話相談

- ・つなぐん相談ダイヤル 電話 0270-26-9200
- ・24時間子供SOSダイヤル フリーダイヤル 0120-0-78310

☆メール相談（相談専用の相談フォーム）

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeKkZUz23wRVRw0pyPD065600drcVkJIhhyWxx_o0IcLr6Juw/viewform

【つなぐんオンラインサポート「つなサポ」】をご利用ください
「つなサポ」は、様々な理由で長期欠席をしている児童生徒に対して自宅等からオンラインで学習や教育相談の機会を提供し、コミュニケーション力や自ら学ぶ力を育成しています。

7月より、自宅のパソコンだけでなく、学校のタブレット端末からでも参加できるようになりました。

詳細は、こちらの専用サイトをご覧ください。

<https://sites.google.com/edu-g.gsn.ed.jp/tsunasapo2026room/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

【問い合わせ先】

心と学びのサポートセンター「つなぐん」
群馬県総合教育センター 子ども教育相談係
電話：0270-26-9217

2 「すべての子どもたちが学び続けるために」より良い方法の相談を

群馬県教育委員会義務教育課では、保護者に向けて県HPを通じて学校や学び場への相談を呼びかけています。

【保護者に向けて】

子どもたちは、学校生活の中で、学習や運動、遊びなどをおして成長していきます。しかし、置かれた状況や取り巻く環境によっては、学校に行くのを嫌がったり、欠席が続いたりするケースが、すべての

子どもに起こり得ます。そのような時は、学校に相談してください。
チーム学校（担任のほか、管理職や養護教諭、スクールカウンセラー、
スクールソーシャルワーカーなど）でどのような支援ができるのか、
学校と連携できる学校外の学び場（教育支援センターやフリースクール
等）はどのようなものがあるのか、子どもの社会的な自立に向けてより
良い方法を一緒に考えましょう。

メッセージはこちらから

⇒ <https://www.pref.gunma.jp/page/100273.html>

【県内の教育支援センター及びフリースクール】

群馬県総合教育センターHPからご覧いただけます。

⇒ <https://center.gsn.ed.jp/sodan/kyoikusien>

■ 子ども・若者の自立支援ガイド（令和6年度作成）
「困難を有する子ども・若者への支援（不登校～ひきこもり編）」

群馬県子ども・若者支援協議会では、増加傾向が続く小・中・高校
生の不登校・ひきこもりに対する支援について、当事者にとっての安
心・安全な居場所、支援のアプローチ、地域の社会資源を活用した支
援連携などの取組例などをまとめた支援ガイドを作成しています。

支援ガイドの内容は、県HPをご覧ください。

⇒ <https://www.pref.gunma.jp/page/694052.html>

3 【再掲】「ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」開催のご案内

ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク（注）と群馬県社会福祉協
議会は、第7回「ぐんまの子ども・若者支援フォーラム」を開催します。

生きづらさを抱える子ども・若者本人やその家族が、自らの意思に
より、今後の生き方や社会との関わり方などを決めていくことができ
る（自律する）よう、支援者同士が学び合い、つながり合う場となれ
ば幸いです。

【フォーラムの内容】

日時：令和8年9月20日（日）13:00～16:30（受付12:30～）

会場：高崎市総合福祉センターたまごホール（高崎市末広町115-1）
会議室1/会議室4

対象：困難な状況にある子ども・若者を支援している個人及び団体
子ども・若者支援に関心のある方

定員：120名（先着順） 参加費無料

内容

13:00～ 開会・オリエンテーション

13:10～ 第1部 基調講演

「ひきこもりの理解ー自立ではなく自律を目指してー」

講師 白梅学園大学 名誉教授 長谷川 敏雄氏

14:40～ 第2部 分科会

分科会Ⅰ 家族支援のヒントー家族に新しい風をー

【発表】桐生市社会福祉協議会 TOMONI

／藤岡市社会福祉協議会 ほっとサロン

【進行】本ネットワーク 代表 湯浅 やよい 氏

分科会Ⅱ 当事者の声ーみつけた私の居場所ー

【発表】NPO 法人 ぐんま若者応援ネット（アリスの広場）

／（株）Aiku ー／渋川市社会福祉協議会 ユニクラ

【進行】白梅学園大学 名誉教授 長谷川 俊雄 氏

16:30 閉会

申込：下記URLから。9月10日（木）締め切り

<https://forms.gle/ezHQyk6nkzN45kch6>

詳細：こちらをご覧ください

<https://www.g-shakyo.or.jp/news/84746.html>

【問い合わせ先】

群馬県社会福祉協議会 権利擁護・子ども若者支援課 相馬
電話 027-255-6111
e-mail kenri-kowaka@g-shakyo.or.jp

4 10/25 伊勢崎市ひきこもり家族支援フォーラム
「元当事者から聞く 生きづらかった時のはなし」

伊勢崎市では、ひきこもりや不登校で悩んでいる方、または関心のある方を対象に、「ひきこもり家族支援フォーラム」を開催します。

- ・家で過ごしていた時間のこと。
- ・人との関わりがづらかったこと。など

元当事者の体験談、参加者皆さんを巻き込んだトークセッションを通して、ひきこもり当事者が抱える生きづらさについて考えます。同じ悩みを抱える人たちとつながる第一歩として、是非、ご参加ください。

【概要】

日時：2026年10月25日（日）14時開始
会場：くわまるプラザ（伊勢崎市保健センター）1階会議室
（伊勢崎市大手町18番1号）
講演会：テーマ 「元当事者から聞く 生きづらかった時のはなし」
～ひきこもり状態を経験した本人の、当時と今～

運営協力 一般社団法人 居場所づくり研究会
＜団体プロフィール＞

伊勢崎市内で、ひきこもりやこころの不調、生きづらさを抱える人たちが、安心して過ごし、人とつながり直せる場づくりに取り組んでいます。

当事者の研究や講演、就労支援、グループホーム運営を通じて、地域で孤立しない支援を大切にしています。

参加費：無料（定員80名程度・先着順）

申込方法（ネットまたは電話）

<https://www.city.isesaki.lg.jp/soshiki/hukusiko/shakai/sougou/22219.html>

電話 0270-27-6273

注）受付期間 2026年9月8日（月）～10月21日（火）

【問い合わせ先】

伊勢崎市役所社会福祉課 総合相談係
メール：f-shakai@city.isesaki.lg.jp

5 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ60」
副業サポートや投資の名目で借金させる業者に注意！

消費生活センターには、副業や投資に関する消費者トラブルが依然として多く寄せられています。

副業や投資等を勧誘する業者から指示されるままに、複数の貸金業者から短期間のうちに次々に借り入れ、副業等を勧誘してきた業者に支払っているケースが目立ちます。特に20歳代以下という若年層からの相談が多く、より一層の注意が必要です。

【相談事例】

- ・ネット広告から登録した業者に、アフィリエイトで稼ぐためのサポートするコースを勧められた。消費者金融から借り入れるように指示され、画面共有アプリをダウンロードして業者と画面を見ながらその日のうちに合計450万円を借り入れた。
- ・インターネットで見つけた「FX投資で儲かる」という業者に約150万円の費用は消費者金融から借金するように言われ、そのとおりに借り

入れて業者の指定する口座に振り込んだ。投資した資金が出金できず、消費者金融には自分で返済せざるを得なくなってしまった。

【トラブルにあわないためのポイント】

- ・「簡単に稼げる」「すぐに元が取れる」などの甘い言葉をうのみにせず、借金をしてまで契約しないようにしましょう。
- ・副業や投資等を勧誘する業者から虚偽の申告をするよう指示されたり、促されたりしたとしても、絶対に虚偽の申告はしないでください。
- ・安易に遠隔操作アプリをインストールしたり、副業や投資などを勧誘する業者と画面を共有したりしないようにしましょう。

★こまったら、まず相談！！

消費者ホットライン「188（いやや）」

※最寄りの消費生活センターを案内する全国共通3桁の電話番号です

《お問い合わせ》

群馬県消費生活センター 027-223-3001

<https://www.pref.gunma.jp/page/8392.html>

6 民間活動団体等 館林市 不登校親の会「あおぞら」

「あおぞら」は、不登校のお子さんがあるお母さんを対象に、抱えている悩みや不安を気軽に話せる居場所として、昨年4月から郷谷公民館で毎月第4土曜日午前に”当事者同士の情報共有の場「ピアサポート」の会”を開催しています。

会を始めたきっかけは、浅沼代表自身が中学生の息子さんの不登校で悩んでいて、話を聞いてもらえる場所を求めていたからです。

学校に行きづらさを感じている子どもにとって一番安心できる居場所が家庭です。子どもの気持ちを受け止める母親自身の心が安定することが、一番大事なことだと実感していました。

同じように悩んでいる母親同士が気軽に話せる、お互いの経験を語り合うことで気持ちも楽になり、子どもに向き合うことができました。

初めて企画した「たてばやしキッズ&ママフェスタ」(7/29開催)を上毛新聞で紹介していただき、当日は親子で楽しめる工作ワークショップやボードゲームなどに多くの方が参加してもらいました。

地元企業からの応援にもつながり、市内の皆さんの認知度が高くなったことは活動の励みになっています。

今一番の課題は、高校受験などの進路に関する情報を集めることです。「つる舞うかたちの群馬県」のくちばしにある館林地区は、隣県の栃木や埼玉の情報が入りやすいのですが、群馬県内の情報は前橋・高崎のものが多く、地理的に遠いので出かけていくのが難しいです。

通信制高校に関する情報も自分たちで市内のキャンパスから集めています。他地域の親の会との交流も実現できないでいます。不登校の学習支援の「つなサポ」の利用も検討中です。

不登校親の会「あおぞら」の活動の様子はこちらから

https://www.instagram.com/futoukou_cafe/



次号は、2026年10月中旬を予定しています。

本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。

また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

..... 群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町 1-1-1 群馬県生活こども部
私学・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-898-3557
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
- ▼ HP https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp_headline_3
県HP「子ども・若者への支援」